

環境教育リーダー研修基礎講座

～やってみよう環境教育～



開催日：平成16年10月27日(水)
～10月29日(金)
(2泊3日)

場 所：伊豆沼・内沼
(宮城県若柳町・迫町・築館町)

国立花山少年自然の家
(宮城県花山村)

主 催：文部科学省 環境省

協 力：宮城県教育委員会

後 援：宮城教育大学 宮城県 仙台市教育委員会 仙台市 (財)宮城県伊豆沼・内沼

予 定 環境保全財団 みやぎ環境カウンセラー協会 日本雁を保護する会

研 修 概 要

■ 基調講演

講師：呉地 正行 (日本雁を保護する会)

■ 環境教育・学習各論

講師：見上 一幸 (宮城教育大学)

川村 寿郎 (宮城教育大学)

平吹 喜彦 (宮城教育大学)

小畑 千賀志
(宮城県内水面水産試験場)

嶋田 哲郎
(財)宮城県伊豆沼・内沼環境保全財団)

■ 「伊豆沼・内沼」の野鳥観察 (体験学習)

■ 体験型環境教育・学習プログラムの作成

参 加 対 象 者

次の(1)及び(2)を満たす方

(1) 以下の道・県に在住もしくは在勤又は大学に在学している方

北海道 青森県 岩手県 宮城県 秋田県
山形県 福島県 茨城県 栃木県 群馬県
埼玉県 千葉県

(2) 地域で環境保全活動に取り組んでいる方、これから環境教育・学習に取り組もうと考えている方など、比較的環境教育・学習についての経験が浅い方

募集人員：50人

(うち25人は教員で別途募集。申込多数の場合は、抽選で受講者を決定します。)

研修参加費(概算)：5,000円

(研修参加費は、食事代、シーツ代、傷害保険料等です(宿泊費：無料)。集合地までの交通費は自己負担となります。)

研修開催の趣旨

今日の環境問題を解決し、自然と共生する持続可能な社会を構築していくためには、環境に対する国民の意識を高め、一人一人が環境に配慮した行動をとることが必要であり、その基盤となる環境教育・学習の推進が重要です。

このため、今後、環境教育・学習を推進する人材として、大きな役割が期待される学校教員及び地域の活動実践リーダーを対象に、基本的知識の習得と体験学習を重視した研修を行い、指導者としての能力を養成するとともに、参加者相互の交流によるパートナーシップを構築し、学校の児童・生徒や地域の人々に対する環境教育・学習の推進に資するものです。

本研修では、本州初のラムサール条約登録湿地となっている「伊豆沼・内沼」を活用した環境教育・学習の実践状況を学習するとともに、沼の野鳥観察などを体験し、これらを通じて体験型環境教育・学習のプログラム作成や運営等の手法を習得することを目的とします。

研修スケジュール(概要)

27日(水)

13:00 集合(JR東北新幹線くりこま高原駅)
14:00 「国立花山少年自然の家」到着
14:40 開講式
15:20 基調講演
16:30 「環境教育・学習各論」(仮題「伊豆沼・内沼」)

28日(木)

5:30 「野鳥観察体験(於「伊豆沼・内沼」)」
8:45 「環境教育・学習各論」(基礎論)
10:25 「環境教育・学習各論」(体験的实践論)
14:00 「体験型環境教育・学習プログラム」の作成

29日(金)

9:00 「体験型環境教育・学習プログラム」の発表
11:50 閉講式
13:00 「国立花山少年自然の家」出発
14:00 JR東北新幹線くりこま高原駅到着・解散

(注) スケジュールは、都合により変更する場合があります。

お問い合わせ・お申し込み

お問い合わせ：環境省東北地区環境対策調査官事務所

〒980-0014 仙台市青葉区本町3-2-23 仙台第2合同庁舎6階

電話：(022)722-0027 FAX：(022)724-4311 Eメール：RR-TOHOKU@env.go.jp

URL：<http://www.env.go.jp/guide/chosakan/tohoku/index.html>

お申し込み：お申し込みは、下記の申込書(様式)(上記URLから入手「可」)に必要事項をご記入のうえ、郵送、FAX、Eメールのいずれかの方法で送付してください。

募集期間は、平成16年9月1日(水)～9月30日(木)【必着】までです。

★受講の可否については、後日連絡いたします。

環境教育リーダー研修基礎講座 申込書(様式)

お名前(ふりがな)	ご所属(団体・グループ・会社・大学等、ある場合のみ)
性別：男・女 年齢 歳	
住所(ご自宅) 〒	所在地(ご所属) 〒
電話 FAX Eメール	電話 FAX Eメール